



鳥取県 米子市立和田小学校

米子市立和田小学校は、鳥取県西部の米子市北西部に位置する明治6年創立の歴史ある学校です。周辺には「日本の白砂青松100選」に選ばれた弓ヶ浜や米子鬼太郎空港があり、全校児童約100人が学年の枠を超え、触れ合いながら学んでいます。

当校は、2014年度に鳥取県金融広報委員会から金銭教育研究校の委嘱を受け、この2年間、実践授業を行ってきました。

例えば、5年生の家庭科では、「じょうずに使おう物やお金」をテーマに、ノートやハムといった具体的な品物を買う場面を想定した「買い物シミュレーション」を行い、買い物をする際に必要な視点や上手な買い物の仕方について考えて意見を出し合いました。また、6年生の社会科では「数年後の自分」をテーマに、将来一人暮らしをする場合に必要になるお金(家賃や食費等)について考える「一人暮らしシミュレーション」を通して、使えるお金には限りがあること、生活をするうえでは工夫を凝らしてやり繰りすることが大切であることを学びました。

児童の中には、普段の生活において、実際に自分の財布からお金を出して買い物をする経験を持たない子どもが多くいます。一方、インターネットを利用した小売サービスの普及など、子どもを取り巻く環境も大きく変化しています。児童には、この2年間の金銭教育を通じて考えた「物やお金を大切にし、消費生活を行ううえで自ら判断し選択することの意味」について理解を深め、さらに賢いお金の使い方を身につけることにより、将来の豊かな暮らしを切り拓いてほしいと願っています。



弓ヶ浜の海岸を歩く「全校すなはま遠足」



米子市立和田小学校



でかいことやろう集会